



実工学の学びの体験を！ 最先端の技術と研究に触れる

—日本工業大学の高大連携プロジェクトを
ご活用ください—

学長 成田 健一

Society 5.0 時代と呼ばれる今日、メタバースなど、バーチャル空間の技術の進歩は早まるばかりです。しかしながら、その一方でコロナ禍の社会では、エッセンシャルワーカーなど、リアル空間の重要性も再認識されました。

2022 年度、日本工業大学は「データサイエンス学科」をスタートさせました。今日、ビッグデータや AI などのキーワードばかりがもてはやされていますが、本学のデータサイエンス学科が目指すのは、データ分析力に加え、ものづくりの現場を熟知し、IoT などのシステム構築力を身につけ、価値あるデータを取得できる「現場に強いデータサイエンティスト」の育成です。データを扱う能力を身につけた人材は、あらゆる産業分野で活躍することができるという考えのもと、日本工業大学では、すべての学科でデータサイエンスプログラムを学べる環境を整えているのも大きな特徴です。

高大連携プロジェクトの「出前授業」では、最先端の科学や次世代をになう技術を研究している本学の教員が、皆様の高校等を訪問し、具体的に社会に貢献する姿を通して、生徒さんに工学を学ぶ面白さを伝えようと工夫しています。本学が標榜する「実工学の学び」の一端に触れ、高校生たちの様々な疑問にも答える「高大連携プロジェクト」を、是非ともご活用ください。

また、高校での課題研究に本学の教員が協力したり、これから本格化する情報科目のサポートをしたりという連携活動も、いくつかの高校と始めています。幅広い高大連携の取り組みに積極的に取り組んでいきたいと思っていますので、どうかお気軽にご相談ください。